

I 計画について

1 生涯学習の意義

- 一人ひとりが、自発的な意志に基づいて、生涯にわたって行う学習活動
- 学習活動は、学校や、社会のあらゆる場（家庭、企業、教育産業含む）において行われるもの
- 個人の充実のもとより、さらに社会全体を豊かにするため、学びの成果を生かすことが大切

2 計画策定の必要性

- 家庭・地域の教育力や地方分権の進展に的確に対応し、本市の生涯学習施策を積極的・計画的に推進する

3 計画策定の目的

- 本市の生涯学習を通じた人づくりを推進するために、地域での活動に軸足を置く『地域教育』を中心に推進方策の基本的な考え方や方向性を示す

4 計画の役割

- 生涯学習社会にむけた行政の役割を示し、市民との協働により進める

5 計画の位置付け

- 宇都宮市総合計画の分野別計画
- 「うつのみや人づくりビジョン」の分野別計画

6 計画の期間

- 平成20年度～24年度までの5年間

II 現状と課題

生涯学習の現状

□生涯学習に対する環境の変化

- グローバル化や地方分権の進展など社会構造の急速な変化
- 生涯学習に対する市民ニーズの多様化
- 社会の新たな問題が増加（ニート、団塊世代など）
- 人間関係の希薄化など「人づくり」の課題が顕在化（家庭や地域の教育力の低下など）
- 教育基本法の改正（平成18年12月）
- 「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」（平成19年1月中教審中間報告）
- 県における『人間力』の向上の考え方

□本市における近年の人間力向上の取組み

- 『宮っこ未来ビジョン』の策定（平成17年度）
- 教育改革への取り組み（平成18年度～）

□これまでの生涯学習推進における成果と課題

成果

- 生涯学習に関する市民の活動は活発になっている
- 市民の生涯学習の認識（8割超）や意識の高まり
- 学習活動を行う市民の増加（5割超）
- 学習活動への希望（8割超）
- 社会的活動への参加の増加（5割超）
- 市民の学習環境は整いつつある
- 生涯学習センター、図書館、美術館、飛山城址公園などの充実
- 高等教育機関等民間学習機関の集積
- 行政各課による取り組み
- 市民の主体的な活動が進展してきている
- 市民活動サポートセンター等

課題

- 社会経済環境の変化や、市民協働のまちづくりの進展、市民の各世代における社会的課題を的確に捉えた「人づくり」への課題対応が不十分

□市民の意識

- 学習の成果が生かされている割合が高い（43.8%）が、個人の自己実現以外の場への拡がり弱い
- 家庭や地域の教育力の低下（家庭83.1%、地域55.6%）の意識が強い
- 地域や地域の子どものために活動する人が少ない（子どものための活動をしていない人67.8%）
- 講座などの種類や内容の充実（41.7%）、気軽に参加できる講座などの増加（39.4%）が求められている

今後の課題

子どもの育ちや地域社会を支える「人づくり」

① 人間力の向上

- 社会的な課題への対応
- 社会生活をする上での基礎的能力を身につける

② 家庭・地域の教育力の向上

- 家庭教育の充実
- 地域における教育活動への参加

③ まちづくりを支える人の育成

- 地域人材の育成や活躍への支援
- 「生涯学習とまちづくりの連鎖」の仕組みづくり

④ 多様な人・組織の参加による学びの支援

- 市民・地域・企業・行政等がそれぞれの得意分野や専門性、組織力を生かすこと
- 地域ぐるみの学びの支援や関係づくり

III 基本的な考え方

1 基本理念

学びを通して豊かな人間性を育み、
子どもの育ちや地域社会を支える「人づくり」を進める

2 基本目標

基本目標① 一人ひとりが人間力を高め、さまざまな場面で地域社会づくりに貢献しています。

【基本指標】 地域活動（自治会やPTA活動を含む。）やボランティア活動へ参加している市民の割合
53.8%（平成17年度） ⇒ 60%（平成24年度）

基本目標② 家庭や地域の大人たちが交流しあい、たくさんの大人によって子どもたちが育まれています。

【基本指標】 地域の子どものために何らかの活動をしている市民の割合
25.1%（平成19年度） ⇒ 40%（平成24年度）

基本目標③ 一人ひとりが、自分にあったさまざまな学習や学習支援活動を行っています。

【基本指標】 自分にあった学習の場や機会を得ることができていると感じている市民の割合
36.1%（平成19年度） ⇒ 50%（平成24年度）

IV 施策の展開

基本施策1 社会の変化に対応する社会教育の充実

子どもから大人までが共に社会を創るために必要な、変化する社会に適応し、社会人としての基礎的な力をつけるための学習機会を充実する。

遊び・体験・交流活動の推進、市民性（シチズンシップ）教育の推進、ふるさと教育の推進 など

基本施策3 市民の主体的な学習活動の促進

多様な学習機会を通して、個人の情熱や能力が発揮され、市民活動が活性化されるよう、主体的な学習活動を促進する。

地域人材のかがやき支援、さまざまな場所・学習支援者による学習機会の充実 など

基本施策2 家庭・地域における教育活動への支援

子どもの育ちを通して、家庭・地域の大人たちが互いに学びあい助け合い、よりよい家庭や地域づくりができるよう支援する。

親学の推進、家庭教育支援のネットワークの形成、学校を中心とした地域教育コミュニティの形成、企業との連携の促進 など

基本施策4 推進体制の整備

本市の地域教育を推進し、生涯学習を継続的に発展させるための推進体制を整備する。

人づくりを推進する基盤の整備、生涯学習センターの充実 など

V リーディングプロジェクト・重点事業

PROJECT A 地域教育かがやきプロジェクト

- 子どものまち事業の実施
- 青年教室の充実
- 子どもの家における子育て支援事業の充実
- 家庭教育サポーターの養成
- 生涯学習コーディネーター養成事業の拡充
- 人材かがやき支援事業の実施
- 市民大学の充実

PROJECT B 『学縁ひろば』推進プロジェクト

- 「宮ふるさと子ども塾」の実施
- うつのみやの地域学の実施
- 魅力ある学校づくり地域協議会の活動の促進
- 宮っこステーション事業の実施
- 地域スポーツクラブの育成
- 地域教育推進センター機能の整備
- 家庭教育支援センター機能の整備
- 仮称第3図書館の整備

VI 計画の推進（P42）

- 生涯学習推進本部… 計画の進捗状況の確認や、必要に応じた計上事業の見直し。人材育成に係る事業の情報集約・発信
- 庁内関係各課… 本計画の趣旨に基づき関係事業への積極的な取組。各分野別計画への反映
- 社会教育委員の役割… 計画を推進するための具体的な社会教育事業推進方策の検討、計画の進捗状況に対する意見の聴取